

猿橋農家組合

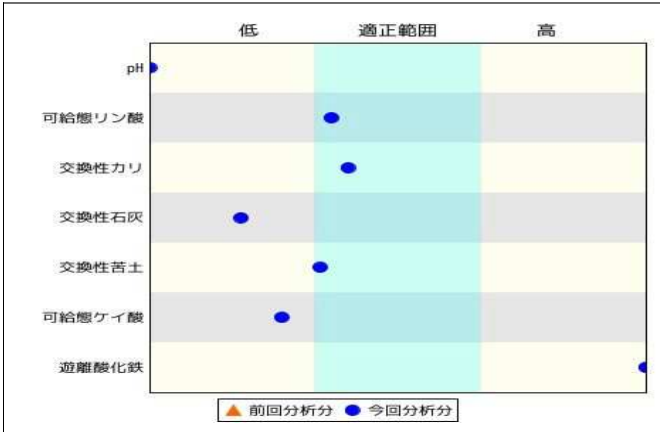
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/17
サンプルNo	7532				支店	西和賀地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場	1	面積	10a	採土場所	猿橋	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土は適正です。
- ・可給態ケイ酸が不足しています。土壌改良が必要です。このほか補給型施肥としてケイ酸を成分量として30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄が高くなっています。
- ・石灰苦土比が低くなっています(2.6)。バランスに注意しましょう。
- ・苦土加里比は適正です(3.0)。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5▼低い		5.5~6.0	
EC	mS/cm	0.03			
可給態リン酸	mg/100g	12.0		10.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	24.0		20.0~40.0	
交換性石灰	mg/100g	111▼低い		200.0~400.0	
交換性苦土	mg/100g	31.0		30.0~60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	13.0▽やや低い		15.0~25.0	
遊離酸化鉄	%	2.5▲高い		0.8~1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		2.6			
Mg/K 比		3.0			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	89.0	0.0	0.0	2.0	

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壤図(農研機構:日本土壤イベントリー土壤図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg/100gを超える場合には50mg/100g、遊離酸化鉄6%を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)


肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粉状)	160	0.0	84.8	0.0	0.0	0.0	0.0
ケイカル(粒状)	10	0.0	4.0	0.3	0.0	3.0	0.0
合計		0.0	88.8	0.3	0.0	3.0	0.0
過不足		0.0	-0.2	0.3	0.0	1.0	

■ コメント


- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- なお、ケイ酸は、毎年元肥として(補給型施肥分:ケイ酸成分30kg程度/10a)必要ですので、鉄分(遊離酸化鉄)が高い場合は「ケイカル(粒状)」を100kg/10a程度施用しましょう。(左の表は、上記元肥への追加分です)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粉状)



ケイカル(粒状)



猿橋農家組合

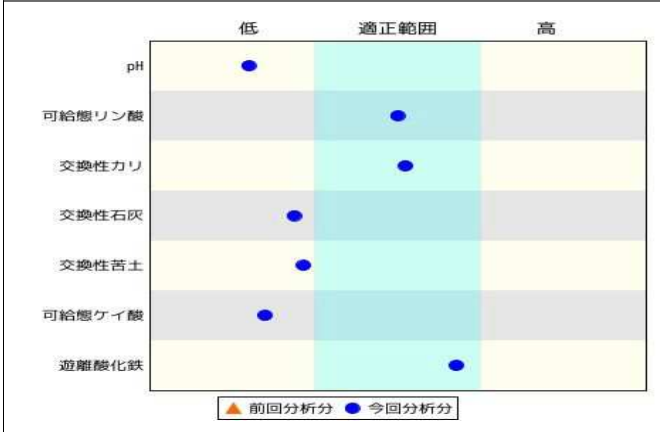
様

依頼先	広域土壌分析センター岩手	所属	JA	JAいわて花巻	受付日	2023/02/17
サンプルNo	7533				支店	西和賀地域営農グループ

■ 詳細情報

圃場	2	面積	10a	採土場所	猿橋	採土日	
作物	イネ	品種		栽培様式	作型	土性	
土壌種類	非火山灰土壌	採土時期		作土深	農家コード		

■ 分析結果グラフ



■ 分析所見

- ・pHが低くなっています。
- ・可給態リン酸は適正です。リン酸肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性加里は適正です。加里肥料は標準量(補給型)を施用します。
- ・交換性石灰が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・交換性苦土が不足しています。土壌改良が必要です。
- ・可給態ケイ酸が不足しています。土壌改良が必要です。このほか補給型施肥としてケイ酸を成分量として30kg/10a程度施用しましょう。
- ・遊離酸化鉄は良好です。
- ・石灰苦土比は適正です(4.5)。
- ・苦土加里比は適正です(2.1)。

■ 分析結果

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
pH	-	5.3▼低い		5.5~6.0	
EC	mS/cm	0.03			
可給態リン酸	mg/100g	20.0		10.0~30.0	
交換性カリ	mg/100g	31.0		20.0~40.0	
交換性石灰	mg/100g	175▽やや低い		200.0~400.0	
交換性苦土	mg/100g	28.0▽やや低い		30.0~60.0	
可給態ケイ酸	mg/100g	12.0▼低い		15.0~25.0	
遊離酸化鉄	%	1.4		0.8~1.5	
石灰飽和度		*			
苦土飽和度		*			

分析項目	単位	分析値	目標値	適正範囲	前回値
加里飽和度		*			
塩基飽和度		*			
Ca/Mg 比		4.5			
Mg/K 比		2.1			

■ 土づくり肥料 目安施肥量

	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
10aあたり(kg)	0.0	25.0	2.0	0.0	3.0	

■ 特記事項

- ・作土深は10.00cmで計算しています。
- ・仮比重は1.00で計算しています。
- ・土壌図(農研機構:日本土壌イベントリー土壌図、<<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>>)から土壌の種類を推定できます。
- ・資材量が300kg/10aを超えるときは、数年かけて計画的に改良しましょう。
- ・分析値が有効態ケイ酸50mg / 100gを超える場合には50mg / 100g、遊離酸化鉄6%を超える場合には6%と表示されます。(分析値上限のため)

■ 土づくり肥料と投入量 圃場あたり(kg)

肥料銘柄	重量	リン酸	石灰	苦土	加里	ケイ酸	鉄
タンカル(粉状)	40	0.0	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ニューエコマグ	3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0
ケイカル(粒状)	10	0.0	4.0	0.3	0.0	3.0	0.0
合計		0.0	25.2	2.0	0.0	3.0	0.0
過不足		0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	

■ コメント

- 左の表は、不足分を補う(土壌改良分)土づくり資材です。(元肥に追加、今回限り)
- なお、ケイ酸は、毎年元肥として(補給型施肥分:ケイ酸成分30kg程度/10a)必要ですので、鉄分(遊離酸化鉄)が高い場合は「ケイカル(粒状)」を100kg/10a程度施用しましょう。(左の表は、上記元肥への追加分です)
- 定期的に土壌診断を実施し、過不足している成分がないか確認しましょう。

■ 土づくり肥料

タンカル(粉状)	ニューエコマグ	ケイカル(粒状)